

## 令和3年(2021)度 金沢工業会 理事会・評議員会の報告

金沢工業会の理事会と評議員会は、例年5月に開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度に引き続き、今年度も対面開催を取り止め、令和3年5月18日(火)～5月31日(月)の期間において、書面附議によるメール審議での開催とさせていただきました。理事・評議員の合計110名から回答があり、以下の審議結果となりましたのでご報告申し上げます。

### 1. 審議事項

#### 第1号議案 令和2年度事業報告

●主な内容

令和2年度の事業内容について報告がありました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国総会、支部総会、学生向け行事など、多くの事業が中止となりました。

●承認 110名, 不承認 0名

●ご意見:

・多くの支部総会が中止となりましたが、各支部におかれましては、賢明なご判断であったと思います。

#### 第2号議案 令和2年度決算報告および監査報告

●主な内容

令和2年度決算報告を提示しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、全国総会、各支部総会等の活動が中止となったため、支部活動費と行事等開催費の支出がほとんどありませんでした。このため、前年度と比較して、赤字額が3,102,202円減少した決算となりました。1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息が願われますが、感染症が終息後、各支部総会が一斉に開催されます。その費用として今回の単年度収支黒字分を支出することになることを申し添えさせていただきます。

令和2年度決算報告に対して、監事の吉村 治 氏(工化昭56)および伴場 秀樹 氏(機械平1)から令和2年度の決算について適性に会計処理されている旨の監査報告がありました。

●承認 110名, 不承認 0名

●ご意見:

・工業会のWebサーバは工業会の財産なのでは?  
・赤字繰り越しの縮小は良かったと思いますが、会費収入の減少は課題として継続して検討できればと思います。

#### 第3号議案 令和3・4年度金沢工業会役員

●主な内容

令和3・4年度金沢工業会の役員として理事40名、監事2名、評議員98名が選出されました。

●承認 110名, 不承認 0名

●ご意見:

・異議ございません。伊藤会長、他、役員の方々、宜しくお願い致します。  
・令和卒の方も評議員になられている人もいいと思いました。

#### 第4号議案 名誉会員の推薦について

●主な内容

名誉会員として、加納 重義 前会長（工化昭50）および千木 昌人 前理事長（工化昭53）が推薦されました。また、報告事項になりますが、功勞役員として深見 哲男 前監事（電気昭53）および山岸 忠明 前理事（工化昭58）が推薦されました。

- 承認 110名，不承認 0名
- ご意見：
  - ・名誉会員推薦理由の記載があると良いと思いました。
  - ・加納先生，おめでとうございます。

## **第5号議案 令和3年度事業計画案**

- 主な内容  
令和3年度の事業計画について提案がありました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、令和3年度における一部の事業が中止になる可能性があります。
- 承認 110名，不承認 0名
- ご意見：
  - ・金沢工業会職場検索システムがありますが、アカンサスポータル上の企業情報検索システムの方が情報として優れています。金沢工業会で維持・運用する意義は何でしょうか？そもそも役に立っているのでしょうか？
  - ・未納者に対して、会誌を送るべきではない。一度だけ警告して、その後は送らないでもよいかと思えます。
  - ・Covid-19の収束が明確に見通せない中、支部総会の開催に当たっては、各支部での開催判断は臨機応変かつ慎重にご判断いただければと思います。また、開催に当たっては、各都道府県のガイドライン等に沿った、感染対策ができればと思います。
  - ・会誌はpdf送付で良いという方も結構おられるのではないかと思います。どうでしょうか？

## **第6号議案 令和3年度予算案**

- 主な内容  
令和3年度予算は、会費納入率を現状に合わせ18%として見積もりました。また、コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度も理事会および評議員会の対面での開催を取り止め、書面附議による審議とするため、これに伴う旅費・懇親会費の削減となりました。また、昨年度より全国総会および支部総会の開催費を改定しました。経済状況の悪化により会費納入率の低下の可能性も予想され、必要な事業に支出し、無駄を無くす努力を継続する必要があると考えております。
- 承認 110名，不承認 0名
- ご意見：
  - ・異議ございません。予算のポイントに記載された通りと存じます。

## **第7号議案 会則の改定**

- 主な内容  
会則第19条で定められている準会員からの会費徴収について、本議案では、準会員からの会費徴収の取りやめを提案いたしました。現行第19条4)項は、悪化する金沢工業会の財政状況を改善するために十数年前に導入された制度ですが、
  - 1) そもそも「会員相互の親睦と、工学系学生への教育支援」を主目的とする金沢工業会の趣旨に合致しない。
  - 2) 理工研究域発足以来、度重なる学類改組等により、理学系・工学系学生の区別が困難なケースが生じつつある。
  - 3) 大学行事の変化（学類改組を含む）により、卒業祝賀会の開催が困難になるなど、「学生に還元できる」有効な支出が減少している。

等々、在学中の学類生から工業会費を徴収する正当性が失われつつある現状に鑑み、上記の提案をいたしました。

●承認 109名、不承認 1名

●ご意見：

- ・卒業終了する学生からの会費集めは、年々厳しい意見を言う方が増えてきて、苦勞しております。会費納入率の低い数字から、卒業間際の学生には厳格ですが、OBへの会費納入への働きかけが弱いという印象です。この変更案は妥当と思います。
- ・在校生に関する会費は、会員でないため、徴収することに無理があった。在校生に工業会の存在を知らしめるのであれば、別の名目で、なんらかの経費を徴収することを考えても良いと思われる。在校生への表彰も、今後の存続意義について、考える時期ではないか。（徴収を止めるのであれば、表彰もやめる理由となる。）
- ・1) は導入時と現在の変わらない財政状況を鑑みると合理的な説明とはいえない。3) は卒業祝賀会を除く在学生関連行事4件および卒業記念品の贈呈は実施できており、準会員会費を廃止する合理的な説明とはいえない。会則・第2条：本会の目的「会員相互の親睦・・・」の会員とは、正、準、特別、賛助、名誉会員すべてを含み、会員は相応の財政的負担を伴ってもよいのではないか。負担を伴わないのであれば、度重なる学類改組で区別も困難ということですから、準会員の指定も廃止すればよい。なお、賛助会員や名誉会員の会費についても明記されていないのですから、準会員の会費を徴収しないのであれば、改正案の第19条・4) は明記する必要が無い。
- ・異議ございません。学生の方から会費徴収するのは如何なものかと、私も思っておりました。

## 自由記述欄

- ・持続的な会の保存策が不明です。
- ・就職に関するメリットを具体的に示すことが出来れば、学生の中に、工業会に入会する意義、納得感がでるのではないかと思います。今後、就職が厳しい時代が来た到来した場合、同窓会のネットワークで、学生の就職をお願いするような場面もないとはいえないので、OBとの関係を大切にすることは、望ましいと考えております。
- ・この様なアンケートに関してGoogle formを活用したり、準会員への紙の会誌送付の代わりにPDFを送付する等、電子化を進めていくと事務作業が減るのではないかと愚考します。
- ・SNSで簡単に卒業生ともつながることができる世の中で、金沢工業会の役割を明確に示さないと、存続は厳しいかなと思います。かといって、何か案があるわけではありません。
- ・コロナ禍が収束後も、書面附議（議論が必要な場合は、オンライン開催）を希望します。
- ・新執行部の喜成理事長、深田先生、本田先生、新理事の皆様、2年間どうぞよろしくお願いいたします。
- ・金沢工業会誌とHPの一層の充実が望まれます。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・理工学域となっているため、工業会としての存在が極めて稀有である。化学類では、同じ学類を卒業しても、一方は工業会、他方は、非工業会ということは通じなくなっている。これから、ますます分離することが難しくなる。100周年を経て、今後、名称変更など、新しい同窓会を立ち上げる時期であると思う。
- ・工学部100周年記念式典について、節目となる重要な式典であるので、どんなに延期しても開催してもらいたい。
- ・先の見えない中で予定を立てることで大変だと思いますが、状況はわかっておりますので、せっかくの100周年を実行時は盛り上げて行きたいと思っております。ご苦勞さまで。
- ・来年度はコロナが終息し、金沢での評議員会の開催を念願しています。
- ・評議委員会へ初めての出席となります。近畿支部長を仰せつかり、運営に関しできる限り協力をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・引き続き卒業生と連絡がつながるように、メールアドレスの展開よろしくお願いいたします。
- ・1日も早く、Covid-19が収束することをお祈りしております。皆様にお目に掛かる日をお待ち望んでおります。どうぞ、皆様もお元気で。
- ・機械学会の支部や部門のニューズレターもpdfでの配信となっているので、今後、状況によっ

ては冊子での配信をなくしていくことも検討してもいいのではとも思いました。（ペーパーレスにもつながる？ただ、印刷屋さんには困る？）

- ・100周年記念において、東海支部で実施することがございましたら、ご連絡をお願いいたします。
- ・在学生（準会員）の会費を徴収しないのは、諸般の事情からやむを得ないと思うが、彼らが工業会の存在を理解し、その恩恵を少しでも受けれるような機会を、今後ともできるだけ進めていくことは大切と思います。よろしくお祈りします。例えば、卒業生と在学生の結びつきなど。
- ・一日も早く、新型Covid-19が終息して対面会議が開催できるようになることを祈っています。
- ・いつもお世話になっております。コロナ禍で各種行事が中止または延期になり、右往左往しております。上記承認をしましたのでよろしくお祈りいたします。
- ・100周年行事開催については、難しい判断と思いますが、よろしくお祈りします。
- ・コロナ禍が終息し、本会が通常開催できるようになることを願っております。
- ・コロナ禍の中での運営大変ご苦勞様です。
- ・会運営誠にご苦勞様です。100周年記念式典、祝賀会が待ち遠しいです。早く新型コロナ禍が終息することを願っています。今年も、金沢工業会評議員会も、金沢大学名誉教授会の懇談会が無く、寂しいものです。
- ・コロナ禍で大変な状況が続きますが、今後ともどうぞよろしくお祈り致します。
- ・令和2年決算では、期せずして単年度収支が黒字になったことは、喜ばしいことかと思いますが、令和3年度以降も収支のバランスを取れるような予算案となるよう、ご検討願いたいと思います。一方、支部長会議、評議員会が複数年、リモート開催となり、各支部行事も中止となっているため、金沢工業会の結束が薄れてきてしまうのではないかと危惧しています。コロナ禍終息後、コロナ前に戻すことは難しくなってくるのですが、金沢工業会がより発展するように、と考えていきたいと思っております。
- ・コロナ禍の最中、理事の皆様には、例年のような活動が出来ず、諸々の対応や実務に大変ご苦勞をなさっていらっしゃるかと拝察致します。暫くは、このような社会状況が続くと思われませんが、何卒宜しくお祈り申し上げます。

## 2. 報告事項

### (1) 工学部創立100周年記念行事について

金沢大学工学部（現理工学域）は、2020年に創立100周年を迎え、昨年5月30日に記念式典等を開催することで準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、記念式典等の開催を1年延期することとしておりました。2021年3月末の時点でコロナ禍の影響が少し収まってきた様子も感じられましたが、未だ都市部において多数の感染者が毎日報告されていることから、100周年記念式典等を2021年秋以降に再延期することにしました。本式典等への参加申込は本年夏頃に金沢工業会の Web サイト上で行う予定であります。

なお、本式典等に係る情報は、金沢工業会 Web サイト：

<http://alumni.nst.kanazawa-u.ac.jp/Kogyo/> に随時掲載いたします。

また、記念事業への寄附金の申込状況として、令和3年3月31日現在 18,128,268円（個人770名、企業17社）の寄附金が寄せられたことが報告されました。寄附の期限は2020年12月末となっております。現在は受付終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

## 3. おわりに

皆様から貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。今後の金沢工業会の運営等の参考とさせていただきます。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の予定が未確定なところが多くあります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庶務理事：深田 宰史 記